



学校だより

北海道小平高等養護学校

令和 7 年 4 月 25 日

第 1 号(通算115号)

温 寧 の 丘

「夢の実現」へむけて

北海道小平高等養護学校校長 齋 藤 利 文

新学期が始まり1か月が過ぎ、生徒たちも新しい環境に慣れ、落ち着いて学習に取り組んでいます。4月9日には「令和7年度 第30回入学式」が行われ、今年度は9名の新入生を迎え全校生徒28名の学校、寄宿舎生活がはじまりました。

小平高等養護学校は、「夢の実現」にむけて目標をもち何事にも挑戦し、一人一人の違いを理解し、自分の考えをしっかりと伝え、意見や理解の相違を解決し、他者と協働し社会に参加するという学校教育目標の精神を基に「他人を理解する力」・「自己を理解する力」・「情報を収集する力」・「協働する力」・「コミュニケーション力」・「地域で生活する力」の6つの育成すべき資質・能力を育むことを目標に教育活動に取り組んでいます。

入学式の式辞でも述べましたが、学校教育目標の「夢の実現」にむけては、生徒のみなさん一人一人の3つの「挑戦」が必要になります。

一つ目は、「好奇心」です。「好奇心」とは、物事に対して興味や、関心をもち、もっと深く知りたい、深く調べたいという要求や気持ちです。その要求や気持ちを積極的に行動に移すことは、**生き抜く力**につながります。二つ目は、「持続」です。「持続」とは、失敗しても諦めずに続けていくことです。難しいことに打ち当たった時にこれまでの経験したことを基にアイデアを考えたり、情報を集めて課題を解決したり、周囲の人に力をかりるなどして乗り越えることは、**知・徳・体のバランスを成長させ、生きる力**につながります。三つ目は、「対話」です。他の人から情報を聞くことや、自分が伝えることは、知識を深めたり、思考を深めたり、自分の成長に繋がります。また、相手の考えを互いに理解し合うことで人との関係もよりよくなります。「対話」をすることは、**たくましく生きる力**につながります。保護者の皆様におかれましてもお子様の「挑戦」する姿に寄り添い、見守っていただけますようよろしくお願いします。

日本は、少子高齢化や生産人口の減少、人口知能の進化等、急速に社会が変化し、誰もが経験のない予測困難な時代をむかえています。そうした時代を生きる子どもたちに必要な資質・能力を育てるためには、学校としてもより実行性のある取り組みと、確実な成果を上げることが求められています。

このことから、**生徒の夢の実現**は、学校、保護者、地域の皆さまがともに知恵を出し合い、学校運営に意見を反映させることで、協働で子供たちの豊かな成長を支え、夢の実現にむけての一步となると考えております。

保護者の皆さま方におかれましては、本校を支えていただいている地域の方々と我々教職員との信頼関係や相互理解に基に、子どもたちを温かく見守り、一人の大人として自立していけるよう皆さまの力を発揮していただけたら幸いです。今後も本校の教育活動に対し、ご理解とご協力をいただけますようよろしくお願い申し上げます。